

# ～ビジネスに役立つデータの正しい捉え方～ データの読み方講座

## 研修のねらい

IoTやビッグデータといった技術革新によって、様々なデータが入手できるようになる一方、企業経営や問題解決の場面でのデータ活用の重要性が増し、データを正しく読み取り、意思決定や問題解決に活用できる人材が求められる時代になっています。

本研修では、データ活用の重要性やデータを見る視点を学んだ上で、企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の考え方・取り組み方を事例演習を通して身につけます。

## 研修のポイント

- 誤りやすいデータの読み方を理解します。
- 平均以外のデータの捉え方を学びます。
- データを活用するフレームワークを学びます。

## 研修期間

2022年

9/1(木)～9/2(金)

(2日間、14時間)

## 対象者

### 経営幹部・管理者

- ・データ分析に関心がある方
- ・経営やマーケティング、問題解決に取り組む管理者
- ・データを正しく読み取れているか不安な方

定員 25名

受講料 22,000円(税込)

## 会場

### 御堂筋キャンパス

大阪市中央区安土町2-3-13  
大阪国際ビルディング27階  
中小機構近畿 セミナールーム

## 持ち物

表計算ソフトが利用可能なノートパソコンやタブレット(貸し出し可能です。)

| 月日       | 時間          | 科目                     | 内容  |
|----------|-------------|------------------------|---|
| 9/1<br>木 | 9:20～ 9:30  | 事務連絡                   |   |
|          | 9:30～12:30  | データ活用の重要性              | よく目にするデータを使って、陥りやすい誤ったデータの見方を確認するとともに、技術革新によって重要性が増すデータ分析・活用について学びます。<br>・ 陥りやすい誤ったデータの見方(演習)<br>・ ビジネスに溢れるデータ<br>・ ビッグデータ、データサイエンスとは<br>・ AIによってデータ分析はどう変わるか |
|          | 13:30～17:30 | ビジネスで役立つ統計の基礎(演習)      | データを読み解くために知っておきたい統計の基本について、サンプルデータを読み解きながら学びます。<br>・ 「平均」以外の捉え方と関数の活用法<br>・ データのばらつき<br>・ データの関係性<br>・ 需要予測の仕方   |
| 9/2<br>金 | 9:30～12:30  | データを正しく読み取る(演習)        | 仕事をする上で触れることのできる多いデータについて、サンプルデータを読み解きながら、データの読み取り方と判断への活かし方を学びます。<br>・ グラフを見るー比較・変化・構成ー<br>・ 財務データを見る<br>・ 販売データを見る<br>・ 在庫データを見る<br>・ アンケートデータを見る           |
|          | 13:30～17:30 | データ活用のための思考フレームワーク(演習) | 思考フレームワークに触れながら、読み取ったデータを問題解決や意思決定への役立て方を身につけます。<br>・ 定量分析と定性分析<br>・ 代表的なフレームワーク<br>・ アンケートの実施方法<br>・ データ活用のポイントと自社での活用法検討                                    |
|          | 17:30～17:40 | 修了証書交付                 |   |

※事務連絡等を含んだ時間：14時間20分

## 講師紹介(敬称略)



中小企業診断士  
服部 繁一(はっとり しげかず)

上場企業にて、Webシステムの企画・設計・開発・管理、ITコンサルティングなどを経験した後、地域総合経済団体にて、インキュベーション・マネージャーを務める。現在は、中小企業診断士として実務、研究、教育に従事。実務面は、製造業・卸売業・物流業などさまざまな業界の起業希望者から中小企業経営者まで、3,000社以上の経営および創業支援実績があり、特に多角的視点を持った事業計画作成の支援に定評がある。また研究面では、実務を踏まえて情報が中小企業経営に及ぼす影響に関するメカニズムの解明に取り組んでいる。



中小企業大学校関西校 研修担当 行

**■貴社の概要について(必ずご記入ください)**

|   |
|---|
| ふりがな<br>企業・団体名  |
| ふりがな<br>代表者名(役職)  |
| 〒<br>住所   |
| 代表<br>TEL ( ) -<br>FAX ( ) -  |
| 連絡担当<br>部課名<br>TEL ( ) -<br>FAX ( ) -<br>E-mail:<br>住所: 〒<br>(※連絡担当が上記住所以外に在籍の場合はご記入ください) |

(1)業種(該当する番号に○をおつけください)

D 建設業(06 総合工事 07 職別工事 08 設備工事)  
E 製造業  
09 食料品 10 飲料・飼料 11 繊維工業 12 木材・木製品  
13 家具・建具 14 パルプ・紙 15 出版・印刷 16 化学  
17 石油製品・石炭製品 18 プラスチック製品 19 ゴム製品 20 革製品  
21 窯業・土石製品 22 鉄鋼 23 非鉄金属 24 金属製品  
25 汎用機械器具 29 電機機械器具 31 輸送機械器具 32 その他

G 情報通信業  
H 運輸業  
I-1 卸売業 I-2 小売業  
a 繊維品 b 化学製品 c 機械器具 d 建築材料等 e 衣服 f 食料  
g 医薬品 h 家具 i 什器等 j その他( )

N サービス業 U その他( )

(2)資本金 万円 (3)従業員数 人 (4)創業年月 年 月

(5)主要取扱品目:

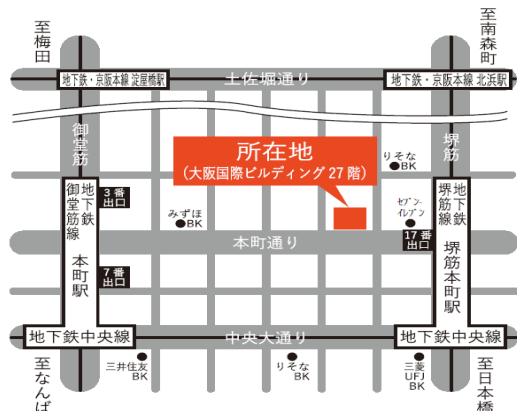
**■受講者について【申込コースおよび受講希望者情報】研修テーマ:(2226) データの読み方講座(大阪)**

| コース<br>No. | (ふりがな)<br>受講者名 | 部署 役職<br>(役職を記載の上、該当区分に○) |    | 年齢<br>歳                       | 性別<br>男・女 | 宿<br>泊<br>施<br>設<br>は<br>あ<br>り<br>ま<br>せ<br>ん |  |
|------------|----------------|---------------------------|----|-------------------------------|-----------|--|--|
|            |                | 部署                        | 役職 |                               |           |  |  |
| No.26      |                |                           |    |                               |           |  |  |
|            | 緊急連絡先(携帯)      | -                         | -  | ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています |           |  |  |
| No.26      |                |                           |    |                               |           |  |  |
|            | 緊急連絡先(携帯)      | -                         | -  | ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています |           |  |  |
| No.26      |                |                           |    |                               |           |  |  |
|            | 緊急連絡先(携帯)      | -                         | -  | ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています |           |  |  |

<反社会的勢力でないことの確約について> 当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

今回の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。

1. 研修ガイド 2. チラシ 3. ホームページ 4. ウェブ広告・SNS 5. メルマガ 6. 他社の紹介・口コミ 7. 自治体・商工団体 8. 金融機関  
9. 新聞・雑誌・ラジオ・街頭広告 10. 大学校・中小機構職員の訪問・電話 11. セミナー・イベント 12. その他( )



**会場アクセス** 中小機構 近畿本部  
〒541-0052  
大阪市中央区安土町2-3-13大阪国際ビルディング27階  
■Osaka Metro(大阪メトロ)  
堺筋線・中央線「堺筋本町」駅から徒歩2分(17番出口)  
御堂筋線・中央線「本町」駅から徒歩5分(3番・7番出口)

大学校使用欄

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

**●お申込み方法**

- こちらの申込書をFAXでお申込みいただくか、関西校HPのオンラインでお申込みください。
- 受講申込後、開校日の約1か月前から「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。

- 多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となりますが、ご対応いただけない場合などには、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

**●受講申込みにおける個人情報の保護について**

中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。

- また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。
- 研修会場には、受講者用の駐車・駐輪施設がありませんので、ご来場にあたっては公共交通機関のご利用をお願いいたします。また、宿泊施設は併設していませんので、宿泊が必要な方は、各自でご手配をお願いいたします。

## 中小企業大学校 関西校

〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929

TEL : 0790-22-5931 FAX : 0790-22-5942 E-mail : kenshu-kansai@smrj.go.jp